

種目: アイス・ダンス  
題名: 図表

## フィンステップの説明, 表, ダイアグラム (出典:コミュニケーション第 1497 号および第 1805 号)

音楽 - クイックステップ 2/4 拍子  
テンポ - 2 拍子 52 小節/分  
- 毎分 104 拍子  
パターン - オブショナル  
時間 - 2 シークエンスで 1 分 16 秒

フィンステップは楽しく速いダンスである。「はじけるシャンパン」のようだという表現がもっとも的確にこのダンスを表している。社交ダンスのクイックステップの氷上版であり、「やりすぎ」なくらいに極めて軽快に踊ることが求められる。生真面目なダンスではなく、ややコミカルに踊ることさえできる。ポルカなど民族舞踊風に踊ってはならない。

非常に歯切れが良くきちんとしたフットワークとタイミングが求められる。タイミングはこのダンスの最も重要な特徴であり、タイミングや表現に歯切れの良さ、こぎれいさが見られない場合は厳しく減点されるべきである。強勢(アクセント)は常に拍の頭におかなければならず、拍のどこかにあれば良いというものではない。拍の頭でステップを踏むことによって、このダンスに欠かせない軽快さを表現することができる。このダンスではカップルの音楽性が評価される。

十分に直立した、ほとんど硬直した姿勢を保ち、ダンスを通してその姿勢を崩してはならない。長いステップは強く、十分に丸い、深いエッジで滑ることが極めて重要で、それによりいたるところに出てくる短いステップやトゥ・ステップ、ホップ(回転のない小さなジャンプ)の歯切れ良さ、軽快さとの違いを引き立たせることができる! ステップをただ滑るだけでは不十分である。重要なのはステップをどのように行ったか、技術によって何を「伝えたか、表現したか」であって技術自体ではない。技術はしっかりと表現のための道具に過ぎない!

### 1. プロムナード部

プロムナード部はこのダンスを特徴づける部分である。ここでは正確で歯切れよいタイミングで弱拍や“と(and)”を強調することが上手な演技に欠かせない。プロム

ナード部の最初はオープン・ホールドで氷面をまっすぐ横切るように滑るもので、軽快なホップを直立姿勢で行うところが社交ダンスの典型的なクイックステップと類似している。女性の 1 回転半のツイズル(ステップ 12)は素早く行わなくてはならない。このツイズルのあと、ステップ 13~18 はパーシャル・アウトサイド・ホールド(ヴィニーズ・ワルツの最初の部分と同じ)で滑り、ステップ 19 でアウトサイド・ホールドになる。この部分を通してフリー・レッグの動作を上手くきれいに行うことも大切である。“ホップ動作”は脚と膝だけを使って、二人が完璧に揃って行わなくてはならず、上半身を用いてはならない。ホールドとポジションは優雅に直立し、揃っていなければならない。上半身はまっすぐにしっかりと保持してはならない。

### 2. ターン, ツィズル, ストップ部

このセクションはよくコントロールされた、深く、十分なフローのエッジで滑ることが必要で、しかもこのダンスの性質とリズム感を失わずに行わなければならない。ステップ 21 で同時にツイズルを行った後、パートナー同士は向き合って互いの左手をつなぎ、二人とも右腕を肩より少し高く横方向に伸ばす。ステップ 21 の出のエッジ(男性は RBI, 女性は RFO)はよくコントロールされていなければならない。フリー・レッグは後ろに伸ばしておく。ステップ 23 ではホールドをオープン・ホールドに変える。ステップ 32 のスイング・クローズド・チョクトウの準備動作では、フリー・レッグをスイングする間に女性は男性の左腕の下をくぐって前に出、腕を曲げたハンド・イン・ハンド・ポジションになる。ステップ 33a では男性が RBI のオープン・モホークを行うが、女性のステップ 33 は RBI で始まってチェンジ・オブ・エッジを行い、二回目の同時ツイズル(男性はステップ 33c, 女性はずっとステップ 33)を行う。一時的にワルツ・ホールドになり、そのとき女性の左腕が男性の背中にわずかに触れる。ツイズルの間、男性の右手は女性の右手をホールドしている。このツイズルの回転(男性は 1 回転, 女性は 1 回転半)のあと、二人はエッジを滑らせてキリアン・ポジションでストップする。このキリアン・ポジションでは、“バタフライ”・ホールドで二人とも手をつないだまま腕を横に伸ばす。フリー・レッグは横に伸ばしておく。

種目: アイス・ダンス

題名: 図表

ステップ 34 から 42 は一箇所で行う(パターンでは「一箇所でのステップ」"stationary step"として示してある)。この特徴的なトゥ・ステップは軽快な脚さばきと歯切れ良いタイミングで行われなくてはならない。フリー・レッグは 45 度以上上げ、十分に綺麗な動きを見せて欲しい。トゥ・ステップの間にカップルはパーシャル・アウトサイド・ホールドに変わる。フリー・レッグを横から後ろへゆっくりと回すような動きが行われる。ステップ 34, 35, 36 ではフリー・レッグを横方向からゆるやかに円錐振子のように動かし後ろクツペ姿勢をとる。フリー・レッグは、ステップ 38 では前に伸ばし、ステップ 39 では後ろクツペ、ステップ 40 では前に伸ばし、そしてステップ 41 では再び後ろクツペとなる。ステップ 42 では両脚を揃えてトゥで立ち、静止ステップ部を終える。

### 3. 交差・入替部

このセクションの躍動感を出すためには加速すること、はっきりと次第に速くなる必要がある。パターンを完成させるための空間を確保して正確な再スタートを行うために、ストップの後にパターンを逆走してもよい。このセクションはステップ 43, 左足で着氷する前方へのホップで始まる。ステップ 46, 47, 48 ではフリー・レッグを後ろに 90 度曲げ、両膝を揃え、軽く飛び跳ねるようにステップを踏む。交差部で重要なのは、女性はステップ 52 と 58, 男性は 51b と 58 でエッジをよく利かせて滑ることで、これにより互いにすれ違うことができる(よって両者の動きはジグザグになる)。ステップ 54 と 61 でのサイド・チェンジは、二人が膝の動きを上手に揃え、軽快に行わなければならないが、ポルカや民族舞踊の雰囲気を持ち込んではいならない。このセクションにはホールドとポジションの変更が多いが、無理なく楽々に行わなければならない。ステップ 64 のクロス・ビハインド・クローズド・チョクトウはクリーンで深いエッジで滑らなくてはならず、そうすることで再スタート直前の同時ツイズルを接近して行える。チョクトウとツイズルが拙いと結果として再スタートが難しくなり、最初の部分の特徴が出せなくなってしまう。

### まとめ

ダンスは表現の一手段である。このダンスの演技を見て観客が何の感情もかき立てられなかったとしたら、いくら技術的に正確であったとしても、その演技は成功したとは言えない。踊るのと同じくらいに観て楽しめなくてはならない。そうでなければその演技は高評価には値しない。

### 考案者

スザンナ=ラーカモおよびペトリ=コッコ、マルティン=スコットニッキーとともに。

### 初演

ヨーロッパ選手権大会 1995 年 ドルトムント(ドイツ)

### コンパルソリーダンス化

w 考案者およびカティ=ヴァインクラ、レネ=ローゼ

種目: アイス・ダンス  
 題名: 図表

フィンステップの説明, 表, ダイアグラム (出典: コミュニケーション第 1497 号および第 1805 号)

ホールド	番号	男性	音楽の拍数	女性	
<b>1. プロムナード部</b>					
オープン	1	XB-RF	1/2	XB-RF	
	2	LF	1/2	LF	
	3	RF	1/2	RF	
	4	XB-LF	1/2	XB-LF	
	5	RF-Tp	1/2	RF-Tp	
	6	LF-Tp Ch	1/2	LF-Tp Ch	
	7	RF/H	1/2+1/2	RF/H	
	8	LF/H	1/2+1/2	LF/H	
	9	RF/H	1/2+1/2	RF/H	
	10	LFO	1/2	LFO	
	11	RFI-Pr	1/2	RFI-Pr	
パーシャル・アウトサイド*	12a	LFO	1/2	1/2 + 1/2 LFO -Tw 1 1/2	
	12b	RFI-Ch	1/2		
	13	LFO	1/2	RBO	
	14	RFI	1/2	LBI-Pr	
	15	LFO3/H	1/2+1/2	RBO/H	
	16	RBO	1/2	LFO	
	17	LBI - Pr	1/2	RFI-Pr	
アウトサイド	18	RBO/H	1/2+1/2	LFO3/H	
	19a	LFI	1	1/2 + 1/2 + 1 + 1 "and"	
19b	RFO	1	Wd-RBI3/ RFO/RFOBr /RBI-H		
	20	XB-LFI	2	1	XB-LBO
<b>2. ターン, ツイズル, ストップ部</b>					
ツイズルの後ハンド・イン・ハンド (本文を参照)	21	RFO-Sw3 /RBI Tw 1 /RBI	1/2 + 1 + 1/2 + 1	1 + 1 + 1	XF-RBI /RBI Tw 1 1/2 / RFO
ホールドなし	22	LBO3	1/2 + 1/2	1	LFI

ホールド	番号	男性	音楽の拍数	女性	
オープン	23	RFO	1	RFO	
	24	LFI - Pr	1	LFI - Pr	
	25	RF-Tp	1/2	RF-Tp	
	26	LF-Tp Ch	1/2	LF-Tp Ch	
	27	RFI	1	RFI	
	28	LFO	1/2	LFO	
	29	RFI - Ch	1/2	RFI - Ch	
	30	LFO	1	LFO	
	31	RFI-Pr	1	RFI-Pr	
	32	LFO Sw-CI Cho		3	LFO Sw-CI Cho
	本文を参照	33a	RBI Op Mo	1	2 + RBI (left leg moves back)
本文を参照	33b	LFI	1		
バタフライで止まる (本文を参照)	33c	RFI/RFI Tw 1 /RFI (Slide into Stop)	1 + 1 + 2	1 + 1 + 2 /RBO /RBO Tw 1 1/2 /RFI (Slide into Stop)	
"キリアン" (腕は伸ばす)	<b>一箇所でのステップ Stationary Steps</b>				
	34	L-Tp - H	1	L-Tp -H	
	35	R-Tp	1	R-Tp	
	36	Lp-Tp	1/2	L-Tp	
パーシャル・アウトサイド*	37a	R-Tp-H	1/2	R-Tp-H (lady turns on Tp to face man)	
	37b	R-Tp-H	1/2	R-Tp-H	
	37c	R-Tp-H	1/2	R- Tp- H	
	38	XB-L-Tp	1/2	XB-L-Tp	
	39	R (flat)	1/2	R (flat)	
	40	XB-L Tp	1/2	XB-L-Tp	
	41	R (flat)	1/2	R (flat)	
42	R+L	1/2	R+L		
<b>一箇所でのステップ終わり</b>					

種目: アイス・ダンス

題名: 図表

ホールド	番号	男性	音楽の拍数		女性
<b>3. 交差・入替部</b>					
オープン	43	L -Tp -H		½	L - Tp-H
	44	RFO		½	RFO
	45	LFI-Ch		½	LFI-Ch
	46	RFO		1	RFO
	47	LFI Op Mo		1	LFI
パーシャル・ アウトサイド	48	RBI		½	RFO
	49	LBO		½	LFI
	50	RBI		½	RFO
オープン	51a	LFO	¼		½ XB-LFI
	51b	XB-RFI	¼		
	52	LFI HOp Mo		½	RFI HOpMo
サイド・バイ・サイドの ハンド・イン・ハンド	53	RBI (man's left hand up)		½	LBI
左右交代 (stays and hand)	54	LFI CICho		½	RFI CICho
	55	RBO		½	LBO
	56	XF -LBI /H		½ + ½	XF-RBI/H
	57	RFO		½	LFO
	58	XB-LFI		½	XB-RFI
	59	RFI HOp Mo		½	LFI HOpMo
	60	LBI		½	RBI
左右交代	61	RFI CICho		½	LFI CICho
	62	LBO		½	RBO
	63a	XF-RBI	1 +		½ XF-LBI
	63b	/RBI Br /RFO-H	½ + ½		1 + ½ RFO /H
キリアン	64	LFI XB-CICho		2	LFI XB-CICho
	65	RBO3 /RFI Tw 1 ½		1 + 1 + 1 ½	RBO3 /RFI Tw 1 ½
オープン	66	LFO		¼	LFO
	67	RFI -Ch		¼	RFI -Ch
	68	LFO		½	LFO
	69	RFI - Pr		½	RFI - Pr
	70	LFO		1	LFO

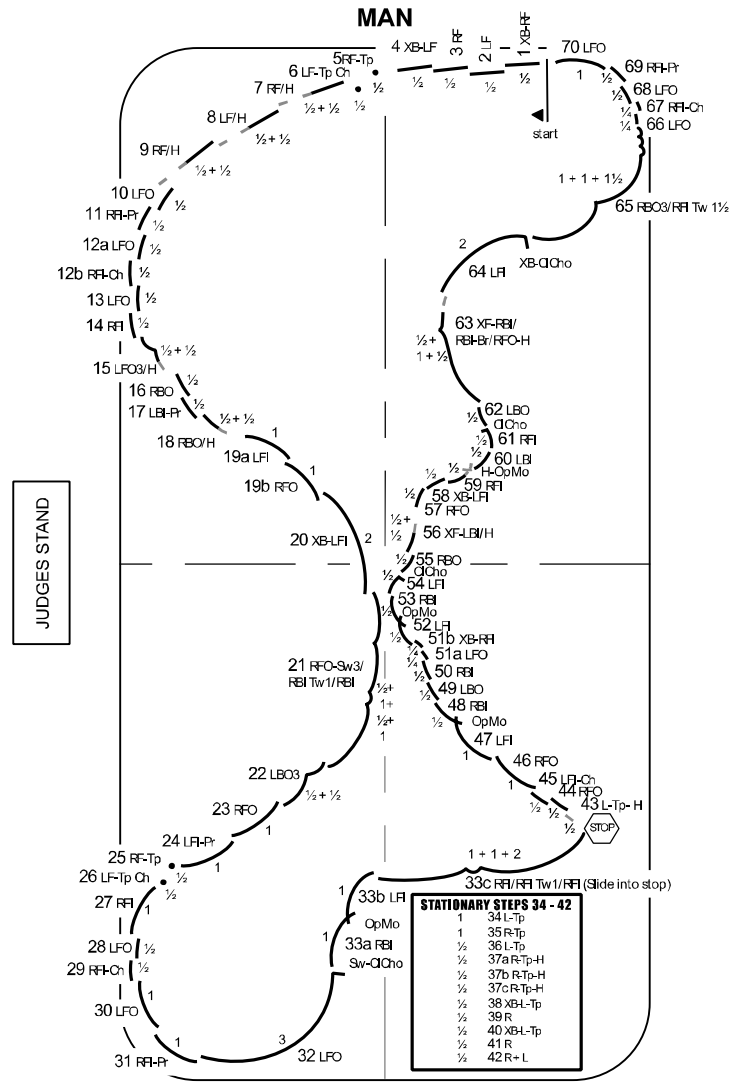
Tp           toepick  
H            hop  
HOpMo       hopped open Mohawk

File name: Handbook for Referees and Judges 2013 final Ja  
Version: 2013(日本語訳第1版 2013年9月10日)  
Date: 31.7.13

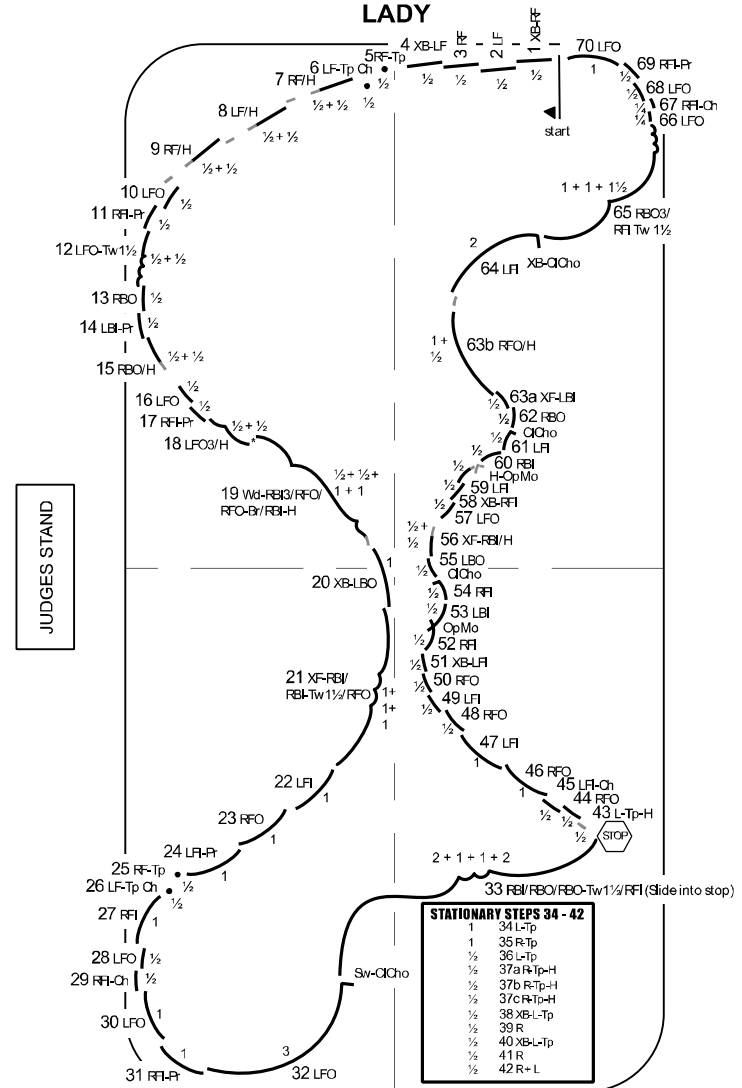
種目: アイス・ダンス  
 題名: 図表

フィンステップの説明, 表, ダイアグラム (出典: コミュニケーション第 1497 号および第 1805 号)

訂正: 男性のステップ 63 のビートは  $1 + \frac{1}{2} + \frac{1}{2}$  が正しい, 男性および女性のステップ 52 と 53 の間のステップは H-OpMo が正しい.



STATIONARY STEPS 34 - 42	
1	34 L-Tp
1	35 R-Tp
1/2	36 L-Tp
1/2	37a R-Tp-H
1/2	37b R-Tp-H
1/2	37c R-Tp-H
1/2	38 XB-L-Tp
1/2	39 R
1/2	40 XB-L-Tp
1/2	41 R
1/2	42 R=L



STATIONARY STEPS 34 - 42	
1	34 L-Tp
1	35 R-Tp
1/2	36 L-Tp
1/2	37a R-Tp-H
1/2	37b R-Tp-H
1/2	37c R-Tp-H
1/2	38 XB-L-Tp
1/2	39 R
1/2	40 XB-L-Tp
1/2	41 R
1/2	42 R=L